

多高通信

第19号 令和3年12月24日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

災害科学科1年 スキルアップ研修I つくば研修

11月1日・2日の2日間、災害科学科1年生によるつくば研修が行われました。自然科学・災害科学の最先端研究に関する知見を深め、その成果を元に災害理解・防災研究の分野への社会貢献の方法について学習する。また、実習を行う中で、データ等の具体的な活用方法など、研究手法について研究者から直接学ぶ機会とするものです。

■1年7組 兼平 琴葉

(岩切中出身)

今回のつくば研修では、最先端の防災について多くの学びを得ることができました。防災科学技術研究所では実験施設を間近で見学して防災の最新線を見て、開発が進む情報システムに関する貴重な講義も頂きました。地質標本館では多くの展示物を見学して個々の関心を深め、CXXVでは宇宙からも防災に関する研究がされていることを知ることができました。

この研修で、今後の防災には災害に対する正しい理解が必要であると学ぶことができました。

北海道羅臼高校の避難訓練に参加しました

11月5日、北海道羅臼高校の避難訓練において、



自然災害に関する具体的な情報と本校災害科学科の取組を伝えるため、災害科学科の生徒2名が派遣されました。

5校時目の避難訓練に続き、6校時目に本校生徒による防災・減災講話が行われました。講話は「東日本大震災における津波被害の実情」と「宮城県多賀城高等学校災害科学科の取り組み」の二部構成で行われました。津波被害の映像や災害科学科のカリキュラム紹介など、講演内容は多岐にわたり、事前に準備したパワーポイントを使って丁寧に紹介しました。

講話終了後には本校オリジナルDIGを紹介する時間を設定していただき、市街地における避難行動についてその一部を羅臼高校の生徒に体験してもらいました。本校生徒への質問も積極的で、和やかな雰囲気の中でお互いに交流を深めることができました。

■3年7組 長谷川海月(塩竈二中出身)

今回は講話を聴く側ではなくて自分がする側となつて初めて40分間の発表を行いました。準備の段階からとても緊張していましたが、発表本番では、羅臼高校の生徒の皆さんが真剣に聞いてくださり、有意義な時間を過ごすことができました。講話の後には簡易的ではありますがDIGワークショップを行い、羅臼高校の皆さんと交流することができてとても楽しかったです。

その他にも、羅臼町を車で走っているとエゾジカやキツネなどの野生動物を普通に見かけることができ、それがとても印象的でした。

■3年7組 伊東優杏

(名取一中出身)

今回、このような機会を得て発表することが初めてだったので、スライドの作り方もあまり詳しくなく経験も浅いので、本場に不安でした。

少ない準備期間で友人や先生と発表の準備をして、発表までに多少のトラブルはあったものの無事発表を終えることができました。羅臼高校の皆さんもたくさん話しかけてくれて交流



が深まり、とても楽しく有意義に講演を終えることができました。

羅臼町は本当に自然が豊かで、宮城では絶対に見ることのできない景色と経験を得ることができました。高校生活の中で初めて最後の発表になると思いますが、今回経験したことを忘れずに今後の高校生活を頑張りたいです。

「防災功労者内閣総理大臣表彰」教育長を表彰訪問しました



過日、本校は内閣総理大臣より「令和3年度防災功労者内閣総理大臣表彰」を受けました。これは「日頃から防災思想の普及または防災体制の整備に尽力し、あるいは災害時における防災活動に顕著な功績のあった個人または団体」に贈られるものです。平成24年から10年間継続してきた津波波高標識設置活動、県外・海外からの来校者に対して生徒が行う被災地域の「まち歩き」の活動、そして災害科学科の設置など、本校が創意工夫をこらしてきた防災教育が高く評価されました。この表彰を受けて、本校災害科学科3年・江戸葵さん、秋澤綾香さん、生徒会長・菊池せせらさんとともに、校長・主幹教諭の計5名で教育長へ受賞の報告を行いました。



列席した3人の生徒諸君から伊東教育長や布田副教育長・遠藤副教育長に対し、これまで積み重ねてきた防災・減災・伝災の活動を報告するとともに、先輩たちから受け継いできたさまざまな活動が高く評価されたことへの喜びに加え、これからの抱負や決意表明を述べました。

■生徒会長 2年2組 菊池せせら(東豊中出身)

この度多賀城高校は「まちづくり大賞」で内閣総理大

臣賞を受賞しました。多賀城高校は災害科学科があったり、くらしと安全という特別な教科があったりと、災害というものを他より深く学べる環境にあります。また、生徒会では「多賀城津波伝承まちあるき」という活動を活発に行っています。これらの活動が評価された結果、内閣総理大臣賞という素晴らしい賞を頂けたこと、とても嬉しく思います。今後も、東日本大震災での出来事を伝承していき、自分たちの命を守るすべをより多くの人に伝えていけるよう、多賀城高校生徒会として日々の活動に取り組んでいきたいと思っております。

科学部

日本分子生物学会参加

12月3日、パシフィコ横浜展示ホールにおいて第44回日本分子生物学会年会・高校生研究発表が行われ、「未知なる生物「マクラギヤステ」の生息北限を探る」の発表題で、科学部ヤステ班3名が参加しました。

調査・研究に取り組んできた成果を学会で発表する機会を得ると同時に、研究者との意見交換を通じて新たな課題を発見することができました。大規模会場で開催された本大会において、一線で活躍する研究者を前にした口頭発表及びポスター発表で経験した体験は、参加した生徒にとって非常に多くの情報をもたらすことになりました。

■1年6組 濱野 瑞紀(中野中出身)

発表本番では、それまで練習を積み重ねてきたこともあり、改善点は多くあるものの伝えたいことを相手に伝えることができました。早口になってしまった点や質問に対して積極的に答えられなかった点など反省すべき点もありましたが、様々な研究発表を見て新しい知識が身に付き、ポスターへのまとめ方などを学ぶこともでき、学会への参加は自分にとってとても大きな経験となりました。

